



去る11月29日(月曜日)に、『2021人権フォーラム@中部』が行われ、「自分らしさを出すってなんだろう? ~ Hair we go? ~」をテーマに、学級フォーラムの形で討論をしました。主な討論内容は、いわゆる「髪型」についてということで、生徒たちにとっては最も身近な校則の一つであるためか、どのクラスも活発に議論が進んだ様子でした。



討論内容は三つに分かれていて、一つ目は「明日から髪型の校則が無くなりました自由です。あなたは、どんな髪型で登校したいですか?」、二つ目は「大事な進路を決定する場面です。入試や就職の面接にあなたは討論①で答えた髪型で行きますか? 行く or 行けない。理由も考えよう」、三つ目は「自分らしさを出すってどういうことだろう? 学校生活を送る上での最低限大切にしたいことってなんだろう? 現在の校則から考えてみよう」となっていました。私自身をはじめ、中部中学校の教職員は、校則は必要最低限のもので構わないという考え方です。むしろ、生徒自身が考えることが必要なのです。なお、校則の見直しについては、今後、PTA役員会やコミュニティ・スクールの会議などでも取り上げていく予定です。

----- もう少しプライベートなことも聞こうかな。趣味とか特技とかは?  
吉野 カラオケとか好きですよ。あと、ボウリングも。  
----- 歌の十八番(おはこ)は?それから、ボウリングのハイスコアも聞いておこうかな。  
吉野 歌は…米津玄師の「Lemon」とか。ボウリングは245が最高です!  
----- では、最後に顧問をしているバスケットボール部の子たちにメッセージをどうぞ。  
吉野 一日一日の練習で、何を押さえておくのかを意識して、全体練習に取り組んでほしいですね。感覚だけの練習では限界がありますから。  
----- どうもありがとうございました。  
【インタビュー後記】  
どんな仕事でも2年目って大事です。逆に、2年目のジククス…などと悪く揶揄されることもあります。吉野先生の場合は「飛躍」ではないかと、本気で思っています!

新企画の『TEACHERS@中部中 リレーインタビュー』3回目となる今回は、吉野虎秀先生です。

----- 大学卒業してすぐにこの世界に飛び込んで、あっという間でしたね?  
吉野 わからないことばかりで悩むことも多いけど、周囲の人に助けられながらやってきたという感じです。あっ、生徒にも助けられています。



吉野虎秀先生

----- 名古屋の出身ですよね。三重県の学校と何か違いを感じる?  
吉野 特に大きく違うとは思わないですけど。自転車通学があるのは驚きでした。15分かけて歩いてたから。  
----- 子どもの頃に熱中していたものってありますか?  
吉野 小学校の頃は、断然ドッチボールですね。名古屋の地元のクラブチームに入っていました。  
----- ハンドボールもやってたんですよね?  
吉野 小学校の時にちょこっとやって、中学校は3年間バスケットボール部でした。で、高校でハンドボール。  
----- そうなんだ!結構、多彩ですね。ところで、教員を志した理由は?  
吉野 高校の2年生ごろから、一つの選択肢として教師はあったんです。あと、大学は理工系も考えていました。  
----- やっぱ、理数が得意だったわけだ。  
吉野 それがですね、実は国語と数学が苦手だったんですよ。でも、文系はだめかなって思って、どっちかと言えば理数系の方がいいということで、今があります  
----- え!そうなの!!今、数学が苦手な生徒には励まし(?)になるかも(笑)  
----- 自分のクラス、2年B組はどんな様子ですか?  
吉野 元気がいいのはいいけれど、話をちゃんと聞かないことがあるのが悩みの種ですね。授業中に積極的に発言があるのは助かりますけれど。

★次回は、寺島鈴香先生を予定しています。

このリレーインタビューは、中部中学校に在籍する先生方にリレー形式でバトンを渡しインタビューしていくものです。だれにバトンが渡されていくのかお楽しみに!(^^)!



よしの とらひで  
松本先生 <=> 吉野虎秀先生